

網走市地域公共交通活性化協議会 平成22年3月16日設置



網走市

概要

網走市は、人口の減少や少子高齢化の進展とともに自家用車に依存した生活の定着により、バス利用者が減少し市の財政負担も大きくなってきている状況にあるが、高齢者等を中心に公共交通への依存度は高まる傾向にあり、住民ニーズに対応した効率的な公共交通体系の確立が必要となっている。このため、運行経費及び市の財政負担の軽減を実現した持続可能な公共交通の提供を目指し、公共交通の全体像やスクールバス・患者送迎バスの効率的活用、デマンド型交通の導入可能性等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR石北本線(網走駅、呼人駅)
- ・JR釧網本線(網走駅、桂台駅、鱒浦駅、藻琴駅、北浜駅)
- ・網走バス(株)(市内6路線、郊外路線5路線)
- ・網走観光交通バス(株)(地域間1路線)
- ・スクールバス(8路線)、患者送迎バス(5路線)

地域公共交通の課題

- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・マイカーへの依存度が高く、路線バスの利用が低調
- ・路線バスの運行の効率化、スクールバス等の有効活用
- ・交通不便地域・空白地域の存在

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・需要予想における収支バランスの分析

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編
- ・スクールバス、患者送迎バスの効率的活用
- ・デマンド型交通の導入



国土地理院発行20万分の1地勢図より